

豪雨も渇水も、 流域で守る。

気候の二極化に立ち向かう、治水と利水の共創

国内のを具体的な流域をモデルケースとし、流域を中心とした多様なステークホルダーとともに、資源をシェアし、新たな価値観や考え方を生み出すことで地域課題の解決に資する「流域における自律協生社会」を目指しています。



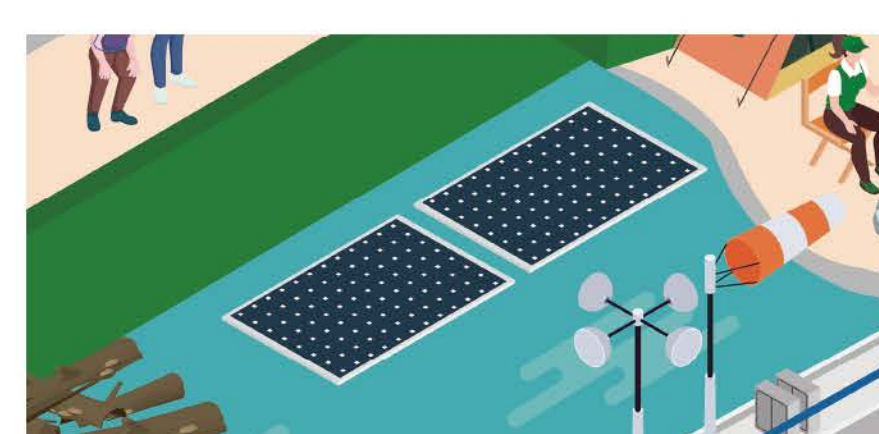
ダム運用の高度化による
治水・発電能力の最大化

エネルギー事業者
インフラシステム事業者



流木や間伐材を活用した
バイオマス発電

商社
エネルギー事業者



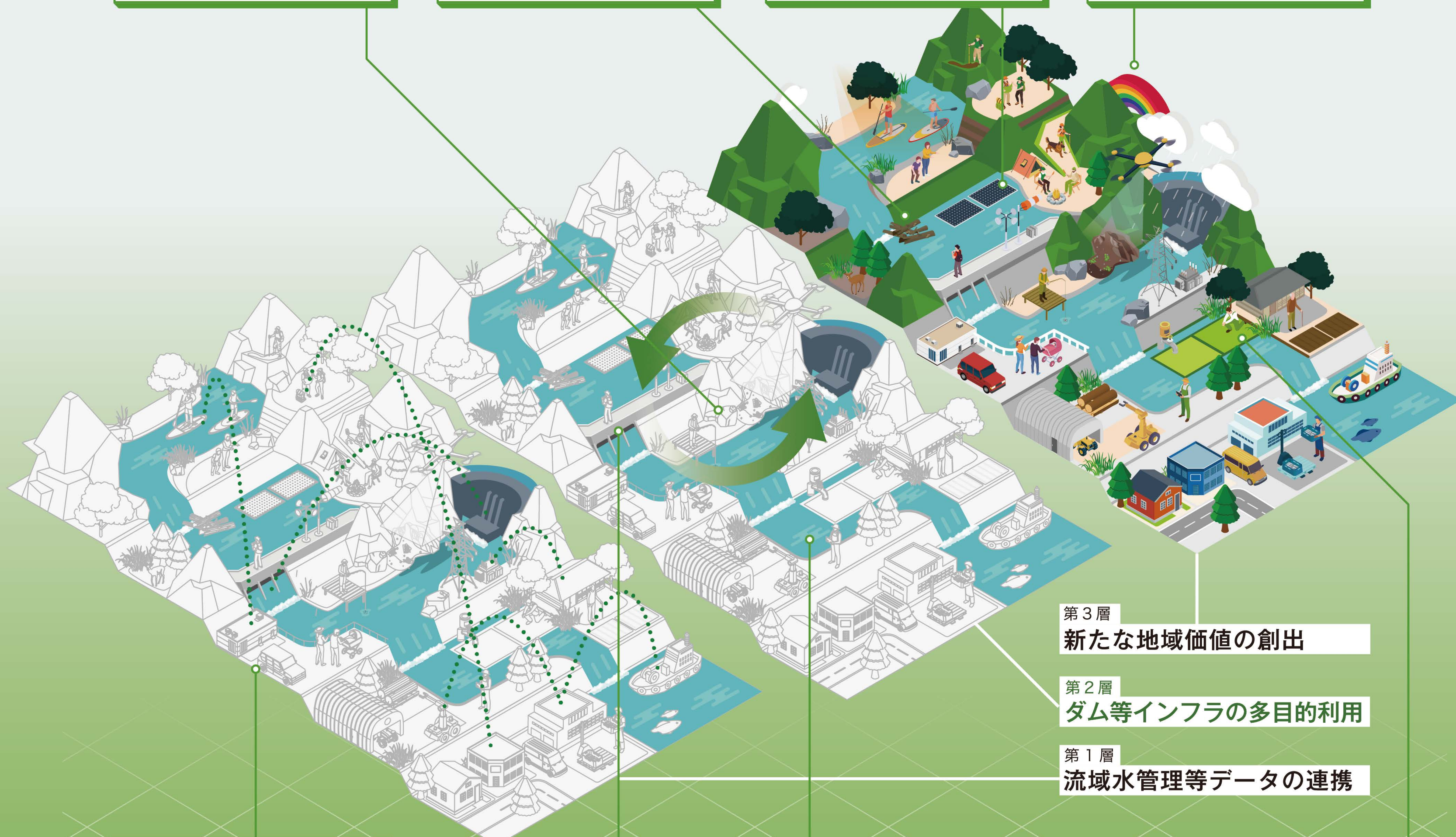
ダム水面での太陽光発電

化学・プラントエンジニアリング
事業者



高精度気象予測技術

システム事業者



第3層
新たな地域価値の創出

第2層
ダム等インフラの多目的利用

第1層
流域水管理等データの連携



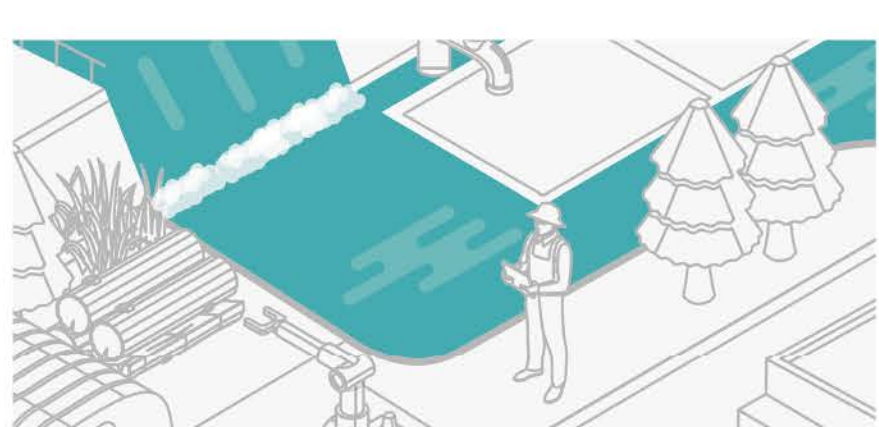
流域全体での
水循環モニタリング、
水利用最適化

多業種



発電ダムにおける
蓄電池技術の活用

エンジニアリング事業者



河川での小水力発電

重電・エンジニアリング事業者



農業用水での小水力発電

エネルギー事業者